

第299回:ノブレス・オブリージュ

還暦を過ぎると外で一杯やるのが億劫になり、仕事が終わるとそのまま家に帰ることが増えてきた。銀行勤めのころ、まっすぐ家に帰るのは一年に一度あるかどうかだったから、変われば変わるもので、無法松が二宮金次郎になったようなものだ。家でテレビはあまり見ないので、酒でも飲みながら本を読むか、古今の名画を観ることが多い。先週の週末のこと、ハリウッド映画「史上最大の作戦」を見ようとしてDVDを開け、おやっと思った。これまで何度見ても気付かなかったが、カバーには左からロバート・ミッチャム、ヘンリー・フォンダ、ジョン・ウェインと並んでいる。真ん中はヘンリー・フォンダだ。たしかに彼は有名な俳優だが、この映画はオールスター揃い、しかも映画で最もカッコいい役回りは、第82空挺師団を率いるヴァンダーポルト中佐(ジョン・ウェイン)と、オマハ・ビーチで上陸作戦の指揮を執る歩兵第29師団コータ准将(ロバート・ミッチャム)で、ヘンリー・フォンダ扮するルーズベルト准将は比較的な地味な役回りだ。

ルーズベルト准将は、第4歩兵師団の副指揮官。D-Dayのユタ・ビーチ上陸作戦では第一波として上陸し、海岸の抵抗拠点への初期攻撃を指揮することを何度も師団長に求めが、師団長は彼が57歳と高齢で、しかもリウマチの持病があることを理由になかなか許可しない。業を煮やした彼は記録の残る書面で申請、パートン師団長も最後は根負けして承認し、ルーズベルト准将はD-Dayにおいて、第一波で上陸した唯一の将官、かつ上陸作戦に参加した最高齢の兵士となった。(映画ではロバート・ミッチャムも第一波で上陸したことになっている)。なぜ彼が何度も前線上陸を志願し、なぜ師団長がなかなか許可しなかったといえば、彼の名前がセオドア・ルーズベルト・ジュニアだったからだ。彼の父親はセオドア・ルーズベルト元大統領、そして当時の米国大統領は親戚のフランクリン・ルーズベルト。そして彼本人も実業家として財をなし、かつては海軍次官(文官)や、プエルトリコ総督を勤めたことのある米国を代表する名門の御曹司だった。米国に貴族はいないが、イギリスでいえばモールバラ公爵やスペンサー伯爵のような存在だ。

ヨーロッパで貴族が貴族としての特権を維持できるのは、ノブレス・オブリージュ(高貴な身分に伴う義務)を果たしているからだ。特に貴族や階級社会が残る英国では、この慣習が現代でも強く求められる。戴冠前のエリザベス女王が軍用トラックの運転手を勤め、フォークランド戦争でアンドルー王子が従軍した所以だ。日本でも戦前の皇族は軍務に就くことになっており、日華事変や太平洋戦争で皇族出身の戦死者も出ている。前田藩の殿様もボルネオで戦死した。ノブレス・オブリージュは米国にも影響を与え、富裕層や名士がボランティア活動や多額の寄附をすることは当然のことと考えられている。企業のCSRにも通じる考え方で、最近では「オマハの賢人」ウォーレン・バフェットの活動が有名である。第二次大戦は米国にとって民主主義の勝利であった。だからこそD-Dayにおけるルーズベルト准将の自発的な行為をノブレス・オブリージュとして称え、映画のトップに持ってきたようだ。この役回りができる俳優といえばヘンリー・フォンダでなければ、ジェームズ・スチュアートか、ゲーリー・クーパーだろう。

はなしかわって、中国ではいま「旧体制と大革命」という本が広く読まれている。トクヴィルという19世紀のフランス歴史家が書いた本で、習近平体制を支える李克強首相と、王岐山規検委主任が、共産党の会議で「党員は読め！」と云い出してから有名になった。内容はフランス大革命の特徴や原因に対する考察である。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

中国の新聞や雑誌は盛んにその内容を紹介し、書店で売り切れが続出するほどの人気ぶりらしい。本書が洛陽の紙価を高めた理由は、中国国内の現状が大革命前夜のフランスのそれと酷似していることにある。当時のフランスでは、貴族たちが特権にしがみつき、塗炭の苦しみを舐めている人民に全く関心を示さず、自分たちの独占的権益の維持に汲々としていた。それが旧体制における社会的不平等を更に深刻化させて大革命の発生を招いた。一方、いま中国でも貧富の格差が益々拡大する傾向にあり、社会的不公平感が全土に充満している。かかる状況下で人民の不平不満が増大し、中国社会が動乱に陥る懸念は十分にあると云うわけだ。

トクヴィルによればフランス大革命は貧困そのものに原因があったのではなく、「総体的な豊かさのなかの絶望的な社会格差」によって起きた。しかも当時のフランス貴族は単なる特権階級に墮し、政府も汚職まみれだった。だから庶民の怒りは燃え上がり、偶発的な暴動が一気に発火して革命となった。現代中国に貴族はいないが、習近平の進める腐敗追放運動が示すとおり、党政府の高官が特権階級になりつつある。しかも彼らの行動にはノブレス・オブリージュの片鱗もなく、孜々として腐敗汚職に励んでいる。高貴な義務を果たせば、汚職は許せるわけではないが、中国の指導者が今後も充実した人生を送りたければノブレス・オブリージュは大切だ。中国の貧乏人は世界でいちばん嫉妬深いからね。

李克強と王岐山はチャイナ・セブンのなかで最優秀の人材で、中国が置かれている状況を完全に認識している。中国で貧富の差を測る指標の「ジニ係数」はとくに警戒ラインを越えており、時間の余裕はない。格差を解消し、社会を安定させるためには、一刻も早く改革開放と規制緩和を進めるべきだが、トクヴィルは「悪い政府にとって最も危険な時期は改革を始めたときだ」と怖いことを云っている。米ソ冷戦時代にも、「最も危ない時期は雪解けが始まり、薄い氷が割れはじめるころだ」と云われことがあるが、事実ソ連崩壊はそのタイミングで発生した。では中国はどうすればよいのか。それは習近平が考えることで、知ったことではないが、密かに家族と資産を海外に移す共産党員の気持ちはよく分かる。

残念ながら中国にノブレス・オブリージュの伝統はないし、これから根付くこともなかりう。国民性の問題だから。宴会で金持ちが喜んでご馳走してくれるのは、メンツや見栄の問題で、高貴な義務とは関係ない。戦争したら強そうな大国の中国だが、歴史上勝った事例は少ない。一方、あまり強そうに見えない英国は、時にバトル・オブ・ブリテンやダンケルクでとんでもない力を発揮することがある。イザとなれば公爵や伯爵が高貴な義務を履行するために自ら最前線に飛び込み、一般国民をリードするからだ。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成27年9月17日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本^の常識は中国^の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040